

中期経営計画

N-PLAN2026



証券コード：6797

名古屋電機工業株式会社

2024年6月

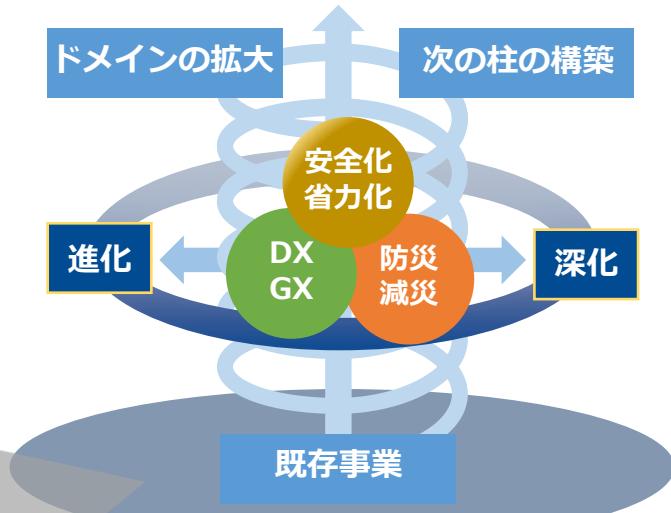
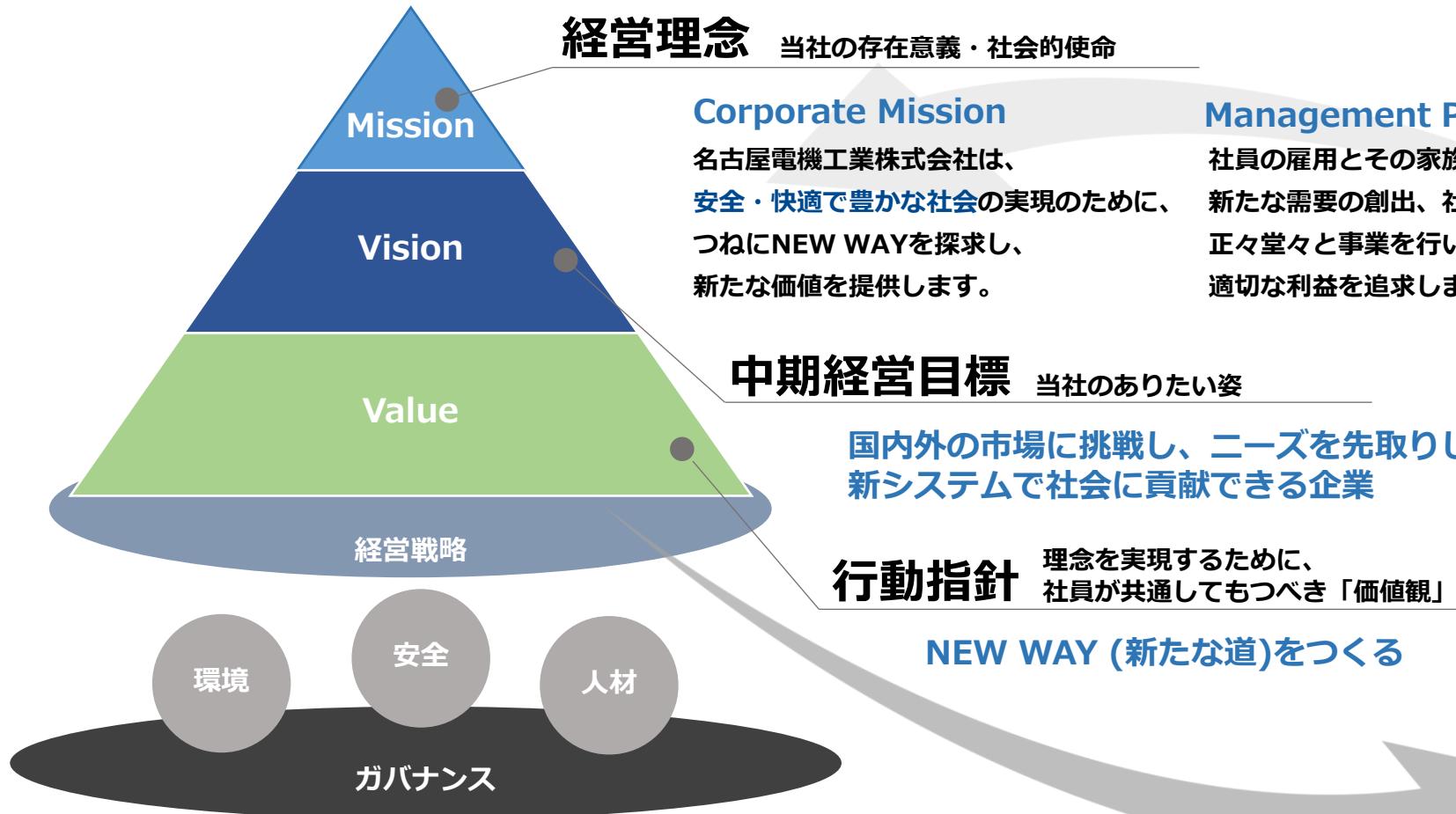
理想をかなえる、にひたむき。

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

ミッション・ビジョン・バリュー

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

ESGを基盤とした成長戦略を採用し、「防災・減災」「安全化・省力化」「DX・GX」その他社会的課題に
対処することで、将来的な収益の最大化を図り、持続可能な企業価値と社会価値の創出に取り組みます。



中期経営計画 N-PLAN2026

FY2024-FY2026

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

Vision

国内外の市場に挑戦し、ニーズを先取りした新システムで
社会に貢献できる企業をめざします。

情報板メーカーから道路交通安全を守る総合設備企業に変容します。
新たなモビリティ形態に対応するインフラ整備を促進します。

目指す
経営指標

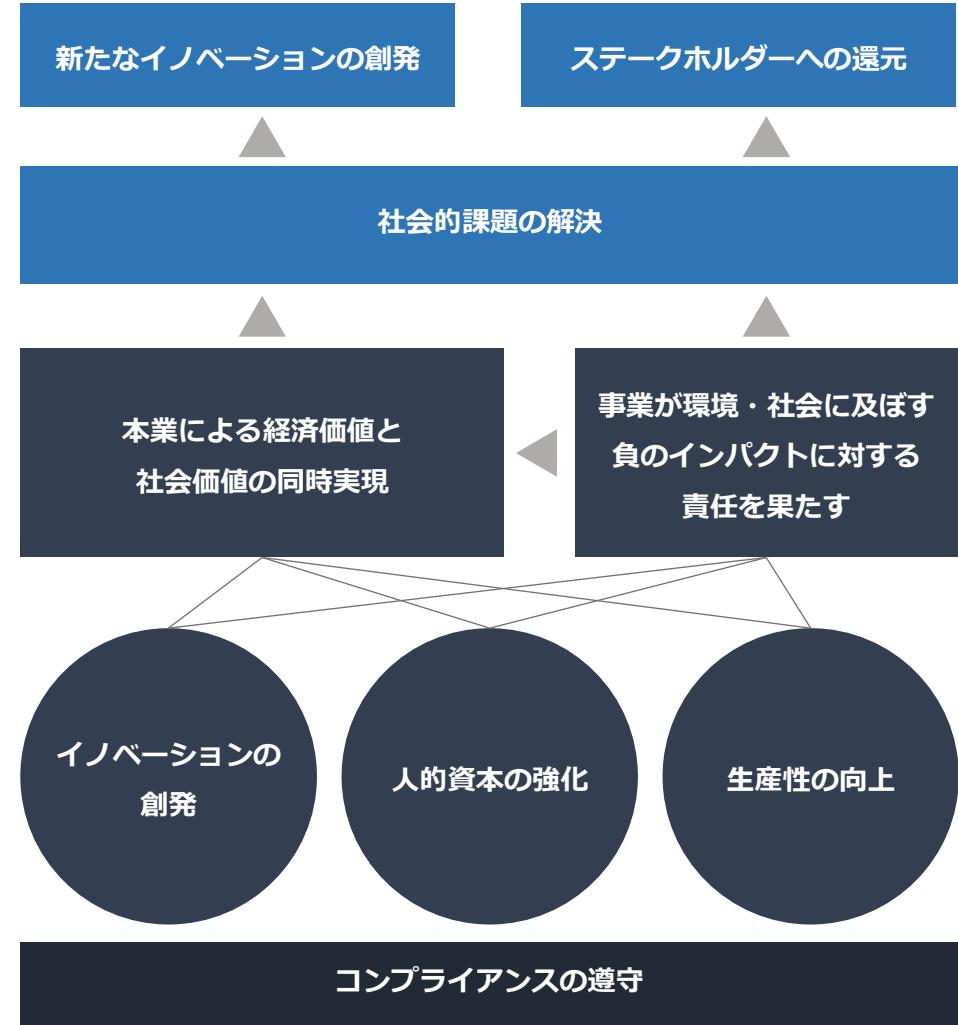
売上高 : **220億円**

営業利益率 : **10%以上**

新システム販売比率 : **10%以上**

ROE : 10%以上 配当性向 : 30%以上

PBR : 1倍以上



中期経営計画 N-PLAN2026 経営戦略

FY2024-FY2026

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

ドメインの拡大

- お客様・社会課題解決のためのソリューション提供に注力

- 【省力化・安全化】インフラ大規模修繕の施工現場ニーズを取り込み

- 【防災・減災】IoTを活用、必要な安全情報をタイムリーに提供

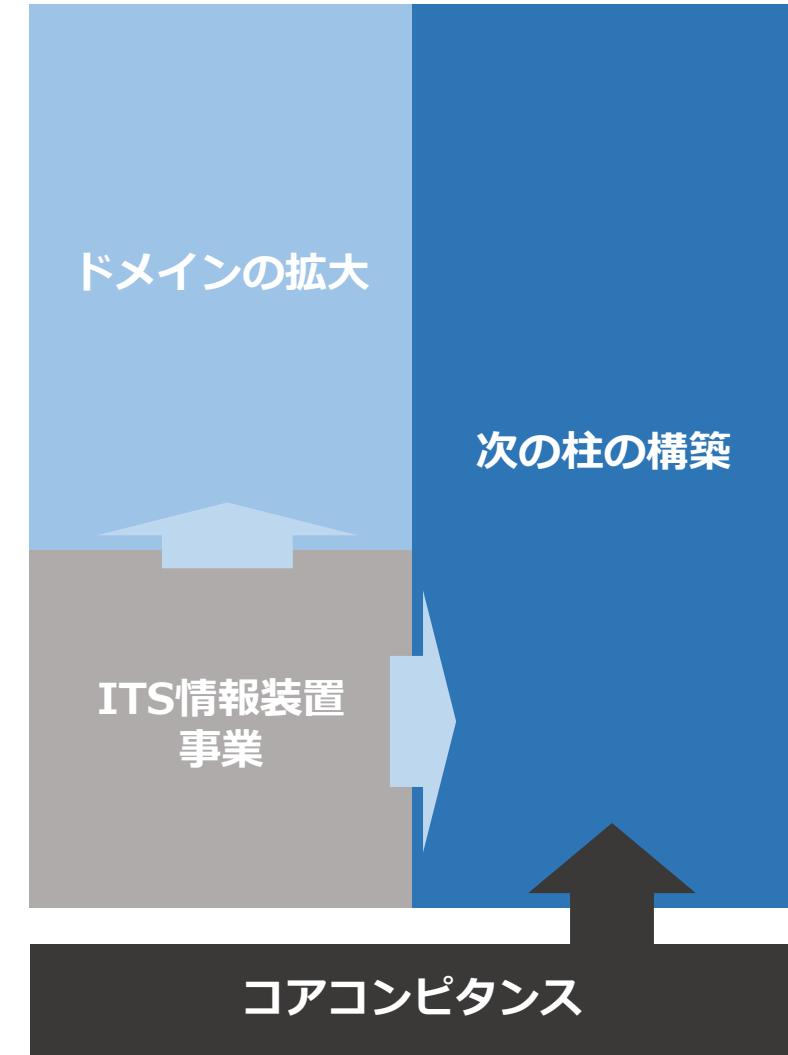
- 【DX・GX】ソフトソリューションで環境負荷に配慮したインフラ整備を推進

- 自動運転社会に対応したソリューションの探索

次の柱の構築

- 自社コンピタンス強化のための投資

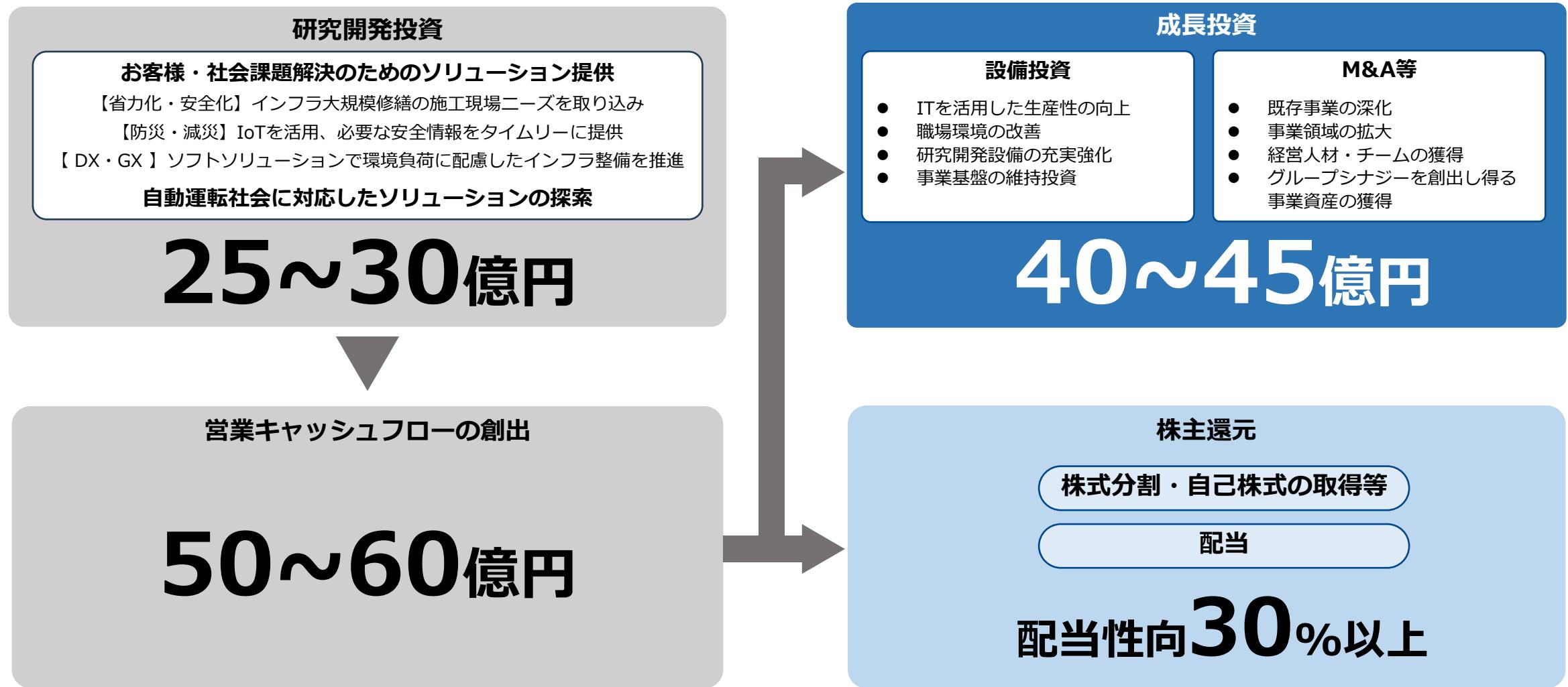
- 他社との連携、オープンイノベーションを活性化



中期経営計画 N-PLAN2026 投資戦略

FY2024-FY2026

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.



走光型運転支援灯システム「可搬式BLINKs充電タイプ」を開発

課題

- 国内で行われる交通規制の大半は半日程度と短時間のものであり、限られた時間内で交通規制材の設置・撤去を行う必要がある

製品外観



ソリューション

- 本製品は軽量且つ高性能小型バッテリーを搭載することで設置・撤去時間を大幅に短縮し、作業性向上や省人化に寄与

省力化
安全化

設置イメージ



「交通規制材のビジネス化実証事業」をインドで開始

現状

- インドでは、交通事故：年間46万件・交通事故死者：年間約16万人にのぼる

ソリューション

- JICAの「中小企業・SDGsビジネス支援事業」の一つとして採択された。同JICA事業を活用して現地の実情に合ったビジネスづくりを進め、交通事故リスク低減を目指す

新事業創発

海外
ビジネス

省力化
安全化

交通規制材(一例)



可搬式信号機



可搬式表示板



車載標識装置

インドの交通状況



N-PLAN2026の実現に向けた新たな挑戦

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

LPWAネットワーク技術を活用したデータ収集カー

現状

- 自治体の災害監視の課題として、災害時に通信設備の故障やトラフィックの圧迫により、監視データの送信が途絶えるリスクがある

ソリューション

- LPWAネットワーク技術を活用したデータ収集カーを提案。LTE網が使えない場合でもデータを集め対策本部に送信することで、切れ目のない災害監視を実現する

新事業創発

防災・減災

DX・GX

自治体総合フェア2024に初出展

自治体総合フェア2024 ソリューションコンセプト出展風景



N-PLAN2026の実現に向けた新たな挑戦

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

環境・教育分野への取り組みを白馬村から開始（2024年度内）

現状

- CO₂は地球温暖化の原因物質の一つ。また屋内のCO₂濃度上昇は学習に悪影響を及ぼすとされる

ソリューション

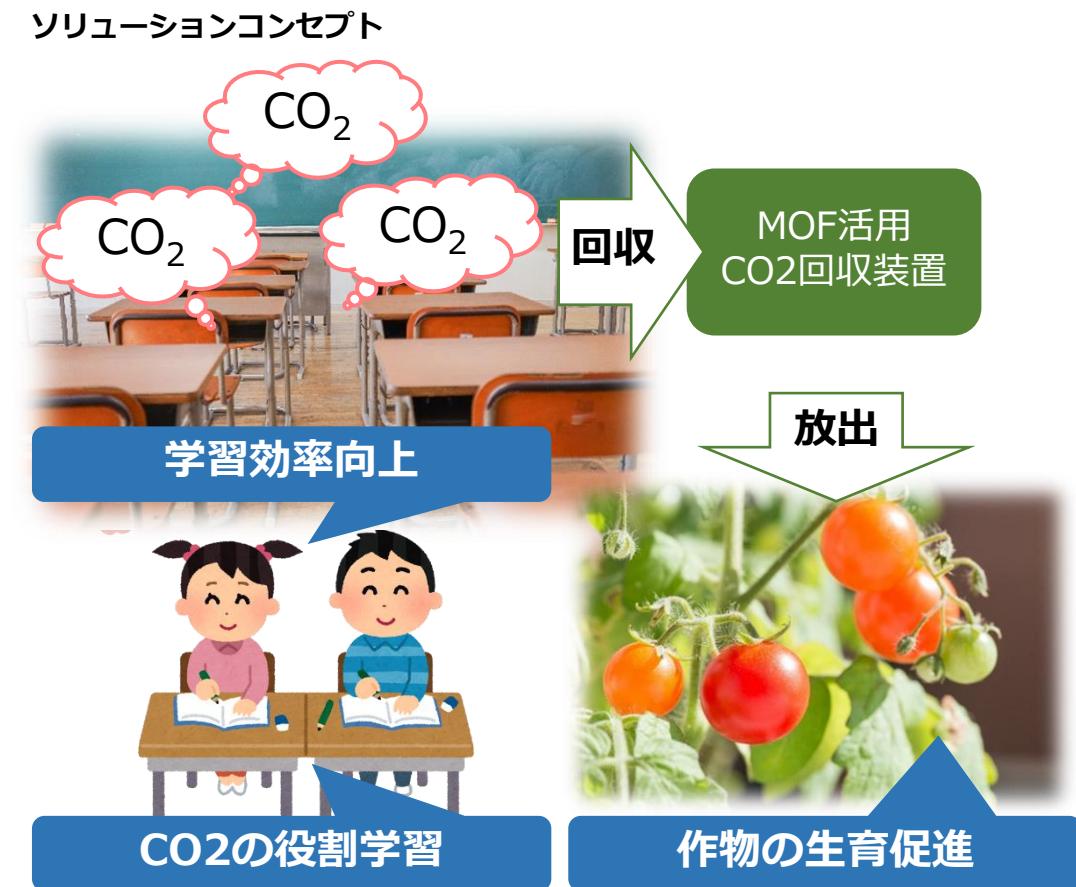
- 白馬南小学校で「人が集まる場所に蓄積されるCO₂を削減するサービス」を検証する。CO₂の役割を楽しく学ぶ機会を提供し、社会実装の可能性探索とカーボンニュートラル貢献を目指す

新事業創発

DX・GX

教育

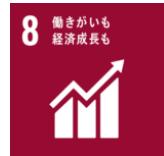
自治体総合フェア2024に初出展



Corporate Mission

名古屋電機工業株式会社は、
安全・快適で豊かな社会の実現のために、
つねに**NEW WAY**を探求し、
新たな価値を提供します。

サステナビリティ委員会を設置し、本業を通じてSDGsの達成など
社会課題の解決に取り組む(CSV)と同時に、事業が環境・社会に
及ぼす負のインパクトに対する責任を果たす(CSR)



製品普及を通じた課題解決

道路情報板や標識装置など、道路交通の円滑化に資するシステムの
配備を推進し、交通環境におけるGHG排出低減に貢献する。

環境にやさしい製品・サービスの開発

省エネ・創エネ分野の製品・サービス開発を推進し、既設情報提供
システムの資産を活用したソリューションを上市する。

事業活動の脱炭素化推進

GHG排出量(スコープ1・2)を、2030年度半減(2013年度比)、
2050年度ゼロ(カーボンニュートラル)を目指す。

サステナビリティー社会

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

事業を通じた貢献

- インドにおける交通規制材のビジネス化実証事業 (JICA支援事業)
- 白馬村におけるCO2利活用教育カリキュラム実証実験(仮題)



社会貢献活動

- 国土交通省「ボランティア・サポート・プログラム」への参加
- インターンシップの受け入れ
- 国内外の学生の工場見学・職業体験受け入れ



経営基盤の充実

人材マネジメント

- 女性活躍推進や障がい者雇用等への取り組み
- 労働安全衛生への取り組み
- イノベーション創出のための土壤づくり etc.



ワーク・ライフ・バランス

- 長時間労働削減への取り組み
- 有給休暇取得の促進
- 出産・子育て・介護を支援する制度の導入 etc.



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

サステナビリティ – ガバナンス

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

透明度の高いより効率的な経営体制を整えることをコーポレート・ガバナンスの基本方針とし、経営の公正性や経営責任の明確化が経営課題の一つと位置づけ体制整備を優先課題として取り組む。

コンプライアンスの徹底

包括的なコンプライアンス体制

法令遵守や倫理的行動を確実にするため、法令遵守教育や研修、コンプライアンスに関するガイドラインを導入しています。

内部通報制度の導入

匿名で不正行為や法令違反を報告できる内部通報制度を整備し、透明性と法令遵守の徹底を図っています。

反社会的勢力の排除

反社会的勢力との関係を排除する方針を明確にし、社員に対して教育を行っています。

リスクマネジメント

リスク管理委員会の設置

リスク管理委員会を設置し、全社的なリスクを体系的に管理しています。

リスク評価と対応の徹底

定期的なリスク評価を行い、潜在的なリスクに対応策を講じています。

内部監査

内部監査の実施

定期的な内部監査を実施し、業務の適正性や効率性を確認しています。

独立した内部監査部門

内部監査を担当する部門は経営から独立しており、公正かつ客観的な監査を行っています。

内部統制

内部統制システムの整備

内部統制システムを整備し、財務報告の信頼性確保や法令遵守のための仕組みを構築しています。

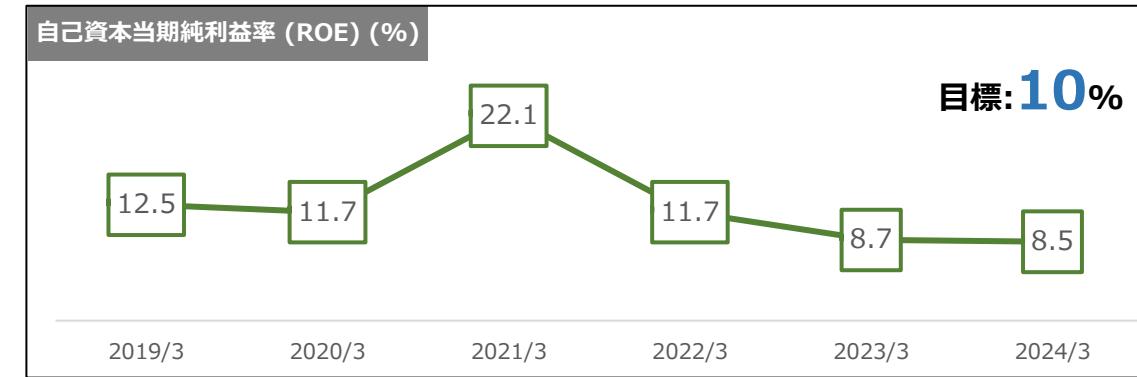
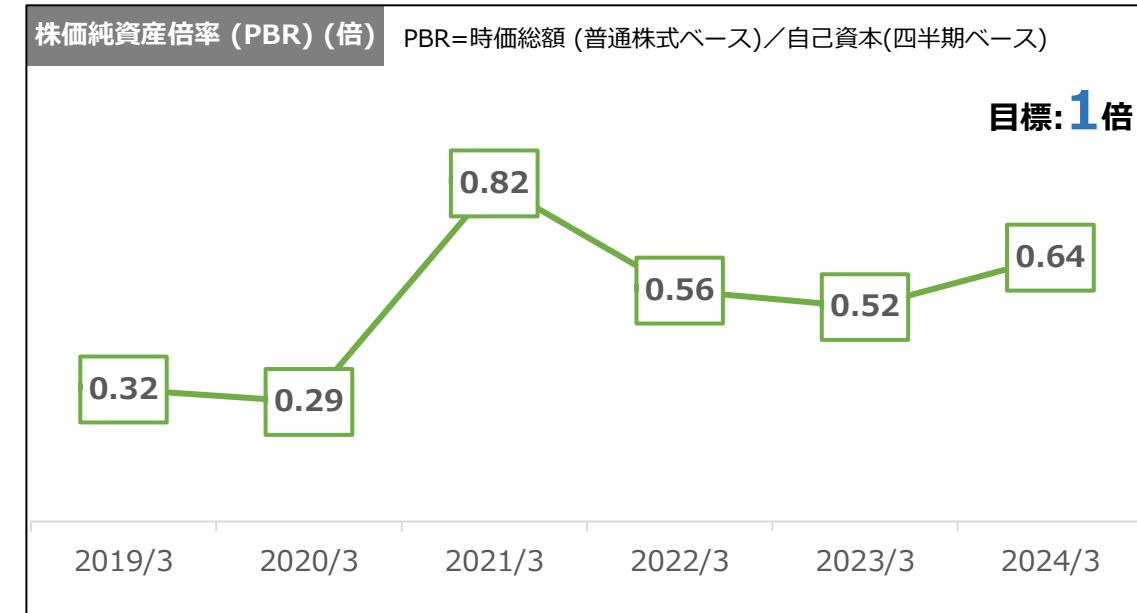
継続的な見直しと改善

定期的に内部統制システムを見直し、改善を行っています。

全取締役のうち3名が社外取締役で構成されており、コーポレート・ガバナンスの向上、経営に対する客観的な意見や視点の提供、更には企業と社会とのつながりの強化を図っています。

PBR1倍に向けた取り組み

- 経営資源を持続的採算性が見込まれる成長分野へ集中的に投下し、資本コストを上回る価値の創出を目指す
- 政策保有株式の段階的な削減を進めて、持続的採算性が見込まれる成長分野への投資に充当する
- 投資家とのコミュニケーションの場を増やし、当社の事業戦略や成長性について十分な理解・評価が得られることを目指す



株主還元の強化に係る取り組み

2027年3月期配当性向30%以上を目安に安定的に配当を行うことを基本方針とし、配当絶対額の維持向上に努める

